

岩沼市（宮城）と特妹都市



市は宮城県の岩沼市と、特妹都市の姉妹都市を組みました。ともに津都に近い空港都市であることが縁で、岩沼市からアプロオースがあり、市は12月市議会にはかかって正式に姉妹市の調印をしたもの。今後は産業・経済・教育文化などの交流を深めていこうと早く握手をかわしました。

岩沼市は、宮城県の京都、仙台市の南に、むかし、伊達政宗の家臣の居城がおかし。伊達藩の南の要所として重要な地位をよめた。市街地は奥州街道に添い、古くから宿場町や竹駒車社の門前町として栄え、また馬車の町としても有名。市の南端を阿武隈川が流れ、豊かな水産は大企業の高産な進出をよみ、活気あふれる産業都市。元は名取郡岩沼町で、昭和46年1月1日市制施行、人口3万1千人。空の玄関仙台空港と新産業都市の仙台湾地区として、今後ますます発展が約束されている。活気あふれるフレッシュな町です。



「おめでとう。よろしく。」市庁舎落成にかけつけてくれた古内市長（中央）大内副議長（左）と和気会々の徳橋助役（右）



日本三大稲荷の一つ、竹駒神社に祈願してきたお札とみせ、婦人会の面々に紹介する市長